

お取引先様各位

文書番号：J20-28-21-044

2021年5月10日

ジャパン・アナリスト株式会社

## 分析サンプル送付時の注意事項について

拝啓 貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今般ガラス瓶で送付されたサンプルについて、開梱時にガラス瓶が破損していた、或いは開梱後にガラス瓶が周囲と接触し破損した等、ガラス瓶起因により分析不能となる事例が続きました。これらの事例はサンプルの物性上、爆発引火の危険があり、作業者の安全確保に問題が生じる恐れも御座います。

つきましては、分析サンプルを弊社へ送付する際は、下記の通り今一度ご配慮頂きたく、お願い申し上げます。 敬具

### 記

#### 1. 発生事例

##### (1) ガラス瓶に採油

送付された段ボール箱の中のガラス瓶が破損しており、サンプルが漏れ、量不足で分析不能となった。段ボール箱に油が浸みしており、引火の危険があった。

開梱後にガラス瓶が他のサンプルに接触、或いはガラス瓶が倒れて破損し、サンプルが漏れ、量不足で分析不能となった。

破損したガラスによって分析作業員が怪我をする危険があった。

##### (2) ペットボトルに採油

ペットボトルの本体が歪み、蓋が緩んでサンプルが漏れ、量不足で分析不能となった。段ボール箱に油が浸みしており、引火の危険があった。

#### 2. 発生原因

ガラス瓶は輸送中に衝撃を受けて破損する可能性が高い。

ガラス瓶取扱い中に接触し破損する可能性が高い。

ペットボトルは変形しやすい。

### 3. ご依頼事項

弊社でご提供可能な採油容器（ポリ容器）で送付をお願い致します。

採油容器の手配についてはホームページでご案内しております。

<https://www.japan-analysts.com/entry/download.html>

ただし、公定法の汚染度(質量法)については試験法遵守の観点からガラス瓶でお送りいただきますが、耐圧瓶のご利用等十分ご注意くださいとお願い申し上げます。

なお、誠に勝手ながら試験法上必須である公定法 汚染度（質量法）以外のサンプルをガラス瓶、ペットボトル等で送られた場合、サンプル損失の責任は負いかねますので、ご承知置き願います。

### 4. ご依頼理由

お客様からお預かりした大切な分析用サンプルは、容器移し替えによるコンタミ回避等、正確な分析結果をご報告するために重要なファクターとなりますので、弊社での移し替えは行いません。

また、サンプルの性質上、爆発引火の回避、作業者の安全確保、サンプル損失によるお客様の再採油の手間をなくすためにも、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

#### <参考>

**推奨（一例）** 要件：破損しにくく、漏れない容器

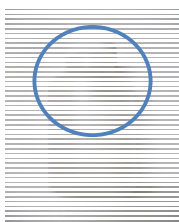
ポリ瓶（弊社提供）

耐圧ガラス瓶

油（1 L以上）の場合

公定法 汚染度（質量法）限定

UN 缶



**推奨しない**

理由：破損・変形による油漏れ及び怪我等危険回避のため

ガラススクリー瓶

ガラス広口瓶

ペットボトル



以上

※ご不明な点は弊社ホームページよりお問い合わせください。

<https://www.japan-analysts.com>